

かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

vol. **83** | 2020 AUTUMN

[特集]

北九州航空研修センター

飛行機の操縦要員を養成

北九州航空研修センター が開所



かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



vol. **83**
2020 AUTUMN

PHOTO GRAVURE

- 01 世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対応
- 01 梅雨前線の停滞に伴う7月豪雨災害に出動
- 02 巡視船いなさ 惜しまれつつ引退
- 02 機動防除隊出動400件
- 03 海上保安庁のSNS・HP活用
- 03 海上保安大学校練習船こじま コロナ禍での乗船実習

[特集]

北九州航空研修センター

- 04 **飛行機の操縦要員を養成
北九州航空研修センターが開所**

[鼎談]

- 10 作家 吉川 英梨 × 海上保安官 川原山 由香 × 元AKB48 篠田 麻里子
海保初の女性潜水士が誕生する可能性

- 12 **NEWS**  **FLASH**

裏表紙

INFORMATION

海の事件・事故は118番へ
海上保安庁のSNS



検体・検疫官等の搬送



感染者等の搬送



飛行機での搬送を想定した訓練



ヘリコプターでの搬送を想定した訓練

世界で蔓延する新型コロナウイルス感染症に対して、海上保安庁は、これまでに横浜港沖のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の患者等の搬送や中国武漢からの日本人帰国者支援、水際対策の徹底や航行船舶等に対する情報提供を行うとともに、検疫所や自治体の要請を受け、巡視船艇等により離島で発症した感染者や洋上の船舶で発熱などの病状が認められた感染の疑われる船員等の搬送を行っています。

このため、全国の海上保安部署では新型コロナウイルス感染症関連の様々な事案に備えた訓練を行い、海上保安官の感染防止に万全を期しながら、関係機関等と緊密に連携し、適切に対応しています。

世界中で猛威を振るう
新型コロナウイルス感染症への対応



転落車両の負傷者の吊上げ救助



孤立者や支援物資の搬送



孤立者吊上げ救助



孤立者吊上げ救助

令和2年7月、日本列島上空に長期にわたり梅雨前線が居座り、ところにより大雨特別警報も発令された集中豪雨(後に「令和2年7月豪雨」と名称化)によって、九州から山陰、中部、北陸、東北地方の広範囲で河川氾濫、家屋の孤立などの災害が発生しました。

海上保安庁では、海から離れた陸の被災地にも出動。

被害の大きい熊本県人吉市、多良木町などの球磨川流域ではヘリコプターや特殊救難隊・機動救難士が、22名の孤立者の救助や避難所へ食糧等を輸送したほか、熊本県八代港では、大型巡視船による給水支援を行いました。

海上保安庁は、陸上で発生する災害に対しても、機動力を生かして積極的に対応していきます。

梅雨前線の停滞に伴う
7月豪雨災害に出動



長官表彰プレート



唐津海上保安部長訓示



最後の記念撮影

巡視船いなさ 惜しまれつつ引退

令和2年6月19日、唐津海上保安部所属の巡視船「いなさ」の解役式が行われました。

巡視船「いなさ」は、平成2年1月31日に就役し、平成13年12月に発生した九州南西海域における不審船事案では真っ先に現場に到着、不審船に対して停船命令や威嚇射撃を実施したほか、不審船から銃撃を受け被弾しながらも、正当防衛射撃を実施するなど適切に対応し一躍有名になりました。

就役から30年間の総航程は約32万4千海里（地球約15周）にも及び、これまで51隻の船舶、150名の人々を救助、最後は航行不能となったプレジャーボートを無事に救助し、30年の歴史に幕を下ろしました。



唐津海上保安部長訓示



原因者への防除手法の指導助言



油防除資機材取扱い訓練

機動防除隊 出動400件

機動防除隊は、令和2年7月に川崎市にある棧橋施設から原油が海上に流出した事故に対応し、平成7年の発足以来、出動件数が400件となりました。

機動防除隊は、船舶等から海上に排出された油、有害液体物質、危険物等に対応する海上防災の専門部隊で、国際協力業務として東南アジア諸国への油防除に関する海上保安能力向上支援も実施しています。

発足して間もなく、平成9年にナホトカ号海難、ダイヤモンドグレース号海難等の大規模油濁事故に対応し、以後の活動も評価され、平成26年には人事院総裁賞を受賞しました。

最近では、令和元年8月九州北部豪雨による鉄工所からの油流出事案等、内陸部災害にも対応しています。



関係機関への防除手法の助言



マレーシアにおける油防除ワークショップ



採用担当ロゴ



海保採用Twitter



おうちで海保



海保YouTube 海保の元気飯vol.1



海保YouTube 海保の元気飯vol.2

令和2年6月下旬から採用担当Twitterを開設し、採用情報のほか、学生生活、業務内容など、海上保安官を目指す受験生の皆様に必要な情報の発信強化を行っております。

また、第五管区海上保安本部では、所属巡視船の自慢の船飯をYouTubeで紹介する企画をスタートしたほか、第

四管区海上保安本部では、「おうちで海保」と題しHP上に新型コロナウイルス感染拡大を受けたSTAY HOMEの過ごし方を提案、海上保安庁伝統の「海上保安体操」や「船内VR動画」等を公開しております。

海上保安庁では、SNS・HPを活用し、より身近に感じていただくための取り組みを行って参ります。



南鳥島洋上見学



練習船「こじま」



食事の様子



船内消毒の徹底



防火訓練



天測実習

海上保安大学校では、例年、練習船「こじま」による世界一周の遠洋航海実習を実施していますが、今年はコロナの影響により外国へ入港することができず、日付変更線往復航海や小笠原諸島などの遠方離島を巡る航海を実施しました。

このような状況下でも、実習生42名は志を高く持ち、毎日の船内消毒などのコロナ感染防止対策を徹底しながら、海技士として必要な知識・技能の習得に懸命に取り組み、航海日数60日、総航程約15,600海里の乗船実習を無事完遂しました。

この実習を通じて、実習生は大きく成長し、今後現場の初級幹部として巣立つこととなります。



SNS・HP活用 海上保安庁の



海上保安大学校練習船「こじま」 コロナ禍での乗船実習

員を養成 センターが開所



北九州
航空研修センター



海上保安庁強化策の二環

福岡県北九州市南部の小倉南区と京都郡刈田町にまたがる沖合に位置する北九州空港。陸側とは長さ2100mの橋で結ばれ、九州では初めて24時間運用可能な空港となっている。ここへ第七管区海上保安本部の福岡航空基地が移転し、令和2年4月1日、新たに北九州航空基地として業務を開始した。

海上保安学校宮城分校北九州航空研修センターは、この北九州航空基地と同時に開所。大野博史センター所長のもと、6名の教官と4名の総務・教務係が飛行機操縦要員の養成に携わっている。

「国際情勢の変化で日本周辺の海域を巡る状況はどんどん厳しさを増しています。そこで、平成28年に海上保安体制の強化に関する方針(平成28年関係閣僚会議決定)が打ち出されました。現在、本方針に基づき巡視船、航空機、測量船等の整備を進めています。こういう背景があって飛行機の操縦要員養成が急務になったのです」

大野所長は開所のきっかけをそう話す。従来、ヘリコプターの操縦要員は海上保安学校宮城分校で養成し、飛行機操縦要員は防衛省に研修を委託してきた。ところが、それでは増員に心えられないとの判断で北九州航空研修センターを開所し、自前で飛行機操縦要員を養成する運びになった。

飛行機の操縦要 北九州航空研修

飛行機の操縦要員増員を目的に海上保安学校宮城分校
北九州航空研修センターが令和2年4月、
福岡県の北九州空港内に開所した。
海上保安庁では初めて
“自前”の飛行機操縦要員養成施設で養成が開始され、
期待を集めている。

取材・文・写真／間々田正行



パイロットへの道はこう

同庁の航空機操縦要員になるには、京都府舞鶴市にある海上保安学校の航空課程に入学するか、幹部職員を養成する広島県呉市の海上保安大学校で選抜されるかの2つの道が用意されている。

そのうち海上保安学校航空課程では1年間、航空機操縦要員になるための基礎教養を習得。同時に海上犯罪取締に必要な知識等を学び、その後、本人の希望や適性によってヘリコプターか飛行機を選択

する。そして、海上保安学校宮城分校か海上保安学校宮城分校北九州航空研修センターで、航空に関する法規や航空工学などを学びつつ、実機を使用しヘリコプターは約1年6カ月、飛行機は約2年をかけて飛行訓練を行う。

こうして事業用操縦士免許を取得できたら全国の航空基地に配属され、海上保安業務に従事しながら中型プロペラ機や中型ジェット機、大型ジェット機など、上級資格を目指す。

「70年を超える当庁の歴史のなかで、自

前の飛行機操縦要員養成施設で養成するのは初めて。10名の研修生が将来、機長になるという目標に向かって日々、汗を流しています。彼らからは空を飛びたいという熱い思いがひしひしと伝わってきますね。モチベーションが高く、その意気に応えてやりたいと、私の方が元気をもらっています」と大野所長はよろこぶ。



北九州航空研修センター所長

オオノ ヒロシ
大野 博史

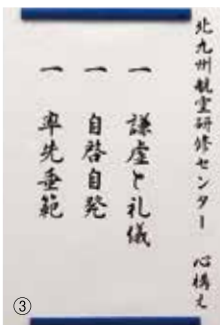
昭和60年、海上保安学校を卒業後、ヘリコプターの操縦要員を長らく務め、平成19年、飛行教官に着任。同31年から当センター開所へ向けて尽力し、現在に至る。「研修生にとって、まだベストな環境ではないが、海上保安業務のやりがいを伝えながら多くの飛行機操縦要員を育てたい」と意欲を燃やしている。



訓練機としてセスナが新たに5機、導入された。型式は172S JT-Aといい、ターボ・ディーゼルエンジンを搭載しているのが特徴だ。燃焼効率が高く、航続距離は航空ガンリンを使うエンジンより500km長い1600kmにもなる。



- ① シミュレーターを使った飛行訓練。効率的で系統だった訓練を通し、飛行技術向上を目指す。
- ② 寮の自室で自習する研修生。課外の過ごし方は自由だが、自主的に勉強する研修生がほとんどだ。
- ③ 研修生としての自覚を常に促す心構え3カ条。



研修生は飛行訓練と並行して、航空に関する専門知識を学ぶ。座学内容は訓練機の取り扱いから始まり、航空法規、航空機構造・整備、航空気象、さらには無線工学、航空英語などと多岐にわたる。

研修生も教官も1期生

北九州航空研修センターでは4月の入学後、まず座学を通じて8月の自家用学科試験受験の準備をする。実技は6月から教官が同乗・指導し飛行訓練を開始。8月には単独飛行の経験を積み、12月以降、自家用実地試験に臨む。この間、飛行訓練は55回を数え、飛行訓練時間は78時間35分に及ぶ。

2年目に入るといよいよ事業用操縦士免許試験合格を目指す。事業用学科試験は7月。実技試験は翌年の3月に予定し

INTERVIEW



北九州航空研修センター教官
カメヤマ シノブ
亀山 忍

教え子全員と将来、いっしょに飛びたい

民 間で飛行機の免許を取り、平成15年に入庁。広島や那覇、千歳などで飛行士、主任飛行士としてキャリアを積み、開所と共に教官として着任しました。教官職は初めてですが、現場で後輩を指導していた経験はあります。

ただ、その方法が適切かどうか自分で検証したいという思いと、「教える」ことを基礎から学ぶ気持ちがあって着任することにしました。後々は現場に戻りたいと希望していますので、その際、当センターでの経験が活かして指導の幅が広がるのではないかと考えています。

今、心がけているのは中途半端な指導は避けるということです。指導には「とにかく厳しく」とか「褒めて伸ばす」とかありますが、そのバランスを考えながら正すべき点はきっちり正していきたいですね。

また、技術的なことはもちろん、海上保安官として人格的にも育てていかないといけないと思っていますが、先々、当庁の飛行機操縦要員として能力や適性を備えているかどうか、研修生の人生も考えて判断しなければならず、辛い場面が出てくると覚悟はしています。

とはいうものの、教え子全員と将来、いっしょに飛びたいというのが私の願いです。

ているが、それまでに訓練回数は130回、訓練時間は205時間05分に達する。

「ここでは全員合格を目標に訓練しますが、合格しても当庁の操縦要員として一人前になるには更に厳しい訓練が待っています。乗組員や要救助者の命を預かりますし、操縦要員の家族に対する責任もあり、万が一ということがあってはいけませんから」

そう話すのは、開所に伴い教官に就任した亀山忍さんだ。入庁して17年というキャリアを持つが、教官を務めるのは当



研修生
ミウラ ヨシキ
三浦 佳之

チームを組む方々から頼られる 海上保安官になりたい

パ イロットになるのが子どもの頃からの夢で航空大学校を受験しましたが失敗。大学に入学したものの、公務員としてパイロットを目指せる海上保安学校航空課程のを知り、大学を中退して入校しました。受験にあたっては、航空大学校に向けて勉強していたことが活かましたので、「過去問」や入学案内の「海上保安学校への道」を中心に勉強しました。

海上保安学校では法律から逮捕術まで幅が広く大変でしたが、ここでは操縦免許を取ることが目的ですから、それに専念しています。ただ、実技は大変で、教官が同乗しているとはいえ離陸時のエンジン音の凄さにはまだ慣れず、一気に緊張が高まります。この実技は週3回あり、訓練前日には一緒に飛ばす同期生と打ち合わせをするので、平日はいつも気が抜けません。

その分、週末はバッティングセンターに行くとかサイクリングを楽しんでストレスを発散させています。同期は仲が良いので、部屋に集まって誕生日会などを開いたり、食事に出かけたりしています。

将来はファルコン2000などのジェット機の機長になり、チームを組む方々から頼られる海上保安官になりたいですね。

所が初めて。航空機操縦の経験がまったくない、いわば初心者に教えるのは今まで経験がない。

「研修生も1期生なら、私たち飛行機を教える教官も1期生。飛行機を飛ばす基礎を教えています。私が習った時のことを参考にしながら、いろいろ工夫して教えています。研修生が成長し私たちと同じ立場になった時、私の教えたことが次世代の研修生に繋がっていただければ嬉しいです」と話し、健康に留意して訓練に励んで欲しいと願う。



飛行訓練に向けて格納庫から訓練機を引き出す研修生。先導役は、北九州航空基地から派遣されている整備士が必ず務める。



④訓練飛行は基本的に教官1名、研修生2名で行い、飛行前にその日の気象条件などを確認・共有するブリーフィングを行う。また、飛行後も訓練中に見受けられた研修生の課題を全員で確認し、教官が改善点を指導する。⑤整備士の誘導で所定位置に停止する訓練機。⑥訓練飛行前は研修生自ら念入りに機体をチェック。

免許合格に向けて一同団結

一方、研修生にとって実技は苦勞の連続のようだ。パイロットになる夢を諦めきれず3年時で大学を中退し海上保安学校に入校した三浦佳之さんは「座学で学んでイメージした通りには操縦できません」と話す。

「無線での交信もまだまだ緊張しますし、上空での気象条件の変化など、イレギュラーの事態にも柔軟に対応できません」

同じくパイロットに憧れて大学卒業後、海上保安学校に入校した川村晶純さんも実技の難しさを実感する毎日だ。

「飛行機がどんな状態にあるか感覚で



つかむ必要があるのですが、それがまだできていません。例えば、機体が斜めに傾いたままで飛行する時があるので、風のせいなのか判断できないのです」

そんな研修生たちのリーダー役が宮川恵悟さんだ。研修生のなかでは唯一、大学在学中にカナダのフライトスクールに入り、セスナを操縦した経験を持つ。

「川村さんには、自分が経験でつかんだ感覚をわかりやすく伝えていきます。そういう場合、教えるというより協力する」という意識で接し、研修生それぞれのマインスマスをプラスに転じています。同期のみんなは仲が良く、全員で団結し免許試験合格を勝ち取ることに励み合っているところですよ」

基地と連携深め、発展を願う

海上保安庁にとって北九州航空研修センター誕生は画期的なことであったが、課題もある。その一つが訓練空域の設定だ。北九州空港の周囲は芦屋や築城、小月などの自衛隊の基地がある上、民間航空機の往来も多い。そこで防衛省とは繰り返し調整を続けてきた。

「現在は筑豊や国東半島の北側まで訓練のために行っています。今後とも訓練空域に不都合が出てきたら、修正が必要に

INTERVIEW

女性も多く活躍していて、職場環境はとても恵まれています



研修生
川村 晶純

小 さい頃、ドクターヘリの活動を見て操縦士として人命救助に携わりたいと思っていましたが、進学した大学では一般企業向けに就職活動。でも、夢にチャレンジしたくなり、ヘリコプターを使う省庁の合同説明会に行ったところ、東日本大震災時の海上保安庁の救助技術に魅了され、大学卒業後、海上保安学校を目指しました。

受験では学科より身体検査が不安で事前に筋トレなどをして体力を付け、食事にも気を配りました。

保安学校で飛行機の魅力を知り、ここで訓練を積んでいますが、実技では機上と地上との距離感がまだつかめず、建物を確認するのも苦手。ただ、教官の指導がうまく、この前よりできているよと褒めてくださるので、逆にできていない所を修正していくのが楽しくなっています。

平日は飛行する時間から逆算して食事や睡眠を取るのが私流なのですが、休日は好きな時間に起きて食事をし、ネット配信の映画やドラマを見まくってストレスを解消しています。

当庁では女性も多く活躍していて、職場環境はとても恵まれています。体力的に辛いだらうとか考えず、プラス思考でどんどんチャレンジしてください。

なるでしょう」と亀山教官。

さらに教官の数も足りない。教官育成も待ったなしの状況にある。そして施設の問題。実は現在の北九州航空研修センターは仮の施設で、教室も手狭ななかでやり繰りしており、研修生寮も近くのホテルを借りることで対応している。

「昭和63年に開校した宮城分校も当初は教室や寮がないなかでスタートしま

した。その時の経験がここにも活かされていますが、校舎や寮など専門施設は基地近くにできる計画なので、それまで現状でがんばっていきます」と大野所長。

訓練は研修センターだけでは完結できず、運行、通信及び整備の支援を北九州航空基地から受けなければ成り立たないため、協力体制を強化していくとのこと。



⑧



⑦



⑪



⑩



⑨

⑦北九州空港を飛び立つ訓練機。⑧朝8時、独特の動きを取り入れた「海上保安体操」で研修センターの1日は始まる。⑨体操が終わった後、研修生は「課業整理」を行い、教官から点呼を受ける。⑩座学や訓練飛行などで研修漬けになる平日。ほっと息をつけるのが昼食の時間だ。1期生という誇りもあり研修生同士は仲が良く、プライベートな話題などで笑いが絶えない。⑪課外では自転車に乗って体を動かす研修生も多い。北九州空港と北九州市の陸地との間に架けられた橋にはサイクリングロードが設けられており、リフレッシュに最適。

INTERVIEW



研修生
ミヤガワ ケイコ
宮川 恵悟

飛行機が好きで社会に貢献したい という人はぜひチャレンジを

人の役に立てる仕事をしたいという思いとパイロットへの憧れから大学を中退し、海上保安学校を受験しました。大学では文系だったため理系を中心に猛勉強。もともと野球をやっていたので体力は自信がありました。

実は大学在学中、飛行機の操縦を体験したいと思い、オーストラリアのワーキングホリデーを利用して資金を貯め、カナダのフライトスクールに入学しています。セスナに15時間ほど乗り操縦を習ったのですが、そのおかげでここでの実技はスムーズにできており、教官も熱心に指導していただいているので毎日が充実しています。辛いのはプライベートの時間も勉強しなければならないことでしょうか。でも、操縦免許を取ることが目的なので、そんな甘いことはいってられないと自分を戒めています。

休日はジムで体を動かしたり、飛行訓練で上空から眺めている山に登ったりしています。

自分で操縦して空を飛び、それが人の役に立てるといふ職業は数少ないもの。飛行機が好きで社会に貢献したいという人はぜひ、当庁の操縦要員にチャレンジし、私たちの仲間になってほしいですね。

入庁当初の初心を忘れないで
研修生には元気をもらっているという
大野所長だが、要望もある。
「研修生とはいつても、自分は海上保安
官。海上保安業務の一翼を担っていると
常に自覚し、ルールに乗ってれば免許
は取れるだろうという気持ちは捨ててほ
しい。私たち教官や職員も前例のないな
かで取り組んでいるので、研修生たちも
一緒にこのセンターをつくっていくとい
う気概で日々、臨んでほしいですね」
そして、初心を忘れないでと願う。
「操縦免許を取り、ある程度キャリアを積

んだ30代などで辞めていく人がいます。私の
教え子も何人が辞めましたが、現場に出るま
でに必要とされる免許や訓練がさらにあつ
て、やりがいを感じる前に気持ちが切れた
り民間の航空会社に惹かれたりするケー
スがあるようです。私は30数年、ヘリコプター
を操縦し多くの現場を経験してきました
が、それらは大きな財産になっています。研
修生にはぜひ、初心を貫いてほしいですね」
国の方針を受けて歴史の幕を開けた海
上保安学校宮城分校北九州航空研修セン
ター。ここから2年後には1期生が飛び立
つ。彼らが将来、どっという活躍を見せてく
れるか、期待を込めて見守りたい。

【作家】
吉川 英梨

【海上保安官】
川原山 由香

【元AKB48】
篠田 麻里子

海保初の女性潜水士が誕生する可能性

(写真/森清)

作家・吉川英梨氏の新作は、女性の活躍が増えている海上保安庁でも、未だ誕生していない女性潜水士が主人公。実際に、女性潜水士「海蝶」が誕生する可能性はあるのでしょうか。今回は、「現代ビジネス」(講談社)の企画で行われた、三者鼎談の一部をご紹介します。

篠田 このたび、女性潜水士を主人公にした小説『海蝶』が刊行されましたね。フィクションとは思えないリアリティとスピード感で一気に引き込まれました。海上保安庁を舞台にした小説を、なぜ書こうと思われたのですか。

吉川 もともと、『新東京水上警察』シリーズを書いていたのがきっかけで、海上保安庁の方にお話を伺った際、その時に「海保のことをもっと多くの人に知ってほしい」とおっしゃっていたこともあって、構想を練り始めました。女性初の海保潜水士を主人公にしたのは親しみやすいかな、と思っただけ。潜水士「海蝶」は誰もが知っててますからね。

篠田 マンガやドラマで有名ですよ。ね。
吉川 ただ、私自身が女性なので潜水士も女性にしてはどうだろうか、と、『海蝶』が誕生したんです。「海蝶」は造語です。蝶が優雅に空を舞うようなイメージで名付けました。

川原山 実際は、まだ海上保安庁に女性の潜水士はいたことがないんです。

吉川 主人公の忍海愛(おしみ・あい)も男性と同じ条件の適性検査によって選ばされ、過酷な訓練を乗り越え国家試験を受け、ようやく潜水士の仲間入りを果たしています。法や組織の仕組み上では女性もなれると聞いていますが、やはり難しいのでしょうか。

川原山 私も、はじめの頃は潜水士になりたいたいという思いもありましたが、基礎体力が問題です。泳ぐことだけなら負けない自信はあったし、現場での判断力も男女の差はないと思います。でも、男の人が1回で運ぶ荷物を、女性だと2回に分けなければならなかったりするんです。潜水の現場は特に時間との勝負だったりするので、この差は大きいですよ。

篠田 女性の割合はどれくらいなんですか。

川原山 今は海上保安庁の定員約1万4000人のうち、女性は1000人程度なので7%くらいです。

吉川 でも、どの世界でも「女性だからで

きること」ってあると思うんです。例えば、小説では男性が入れない狭い場所に愛が潜って事件解決の糸口を探ったりします。それに、女性の方がその場の変化に気づく能力が高いらしいんですよ。だから、小説の中にも女性ならではの小さな気づきや観察力は意識的に取り入れられました。

川原山 最近は船の整備に携わる女性機関士も増えているんですが、男性には入れない狭いところで作業してたりします。

吉川 そうそう。篠田さんのお父様は海上保安庁にお勤めなんですよ。

篠田 一昨年に定年退官して、今は再任用で勤務しています。父も海保が舞台なのがうれしいみたいで、『海蝶』を読むことをすごく楽しみにしていました。

吉川 ええっ、うれしい！ありがとうございます。

篠田 『海蝶』はミステリー小説ですが、家族の物語でもあるじゃないですか。中でも心に刺さったのが愛ちゃんの母親の「親というのね、子供を愛することだけが、全てじゃないのよ。子供がしたこと

責任を持つのも、親のすべきこと」という言葉です。

私もこの春に出産し、母になりました。母親の立場で読むと、両親の私たちに対する愛情を改めて感じたし、親として気を引き締めるところも多くありました。

愛ちゃんの母親も子どもの立派な姿を見なかったでしょうね。でも、東日本大震災で津波にのまれてしまう……。

吉川 はい。そのことが愛が潜水士を目指すきっかけになるんですが、最初は書くことに抵抗がありました。

でも、海保OBの方から、震災を機に「助けてもらったから恩返しをしたい」「人助けをしたい」という動機で志す人が増えていくという話を聞いて、少しでも希望につながるのであればと盛り込むことにしたんです。実際、被災地にも足を運びました。

川原山 津波の発生が予測されると海保の巡視船や巡視艇は注意喚起や漁船の誘導をするために出港します。東日本大震災の津波の襲来後は、飛行機や巡視船で沿岸部を捜索し、必要に応じて特殊救難隊などによる被災者の救助を行いました。

篠田 人命救助のシーンもそうですし、巡視船が出港する時の保安官たちの緊迫した動きもリアリティがあつて、ハラハラしたり、祈るような気持ちになったりしながら一気読んでしまいました。とても綿密に取材されていますよね。

吉川 足かけ2年にわたつての取材でしたが、海保の方々が積極的に協力してくださったおかげです。事件や事故が起こると無駄のない動きで素早く対応するのに、船を降りるとおちゃらけているというか

(笑)。そのギャップがおもしろいし、かっこいいですよ。

篠田 アットホームですよ。

吉川 そして、やっぱり海で生きている人は熱いと思う。海に出ていた時はもちろん、船を降りて陸での勤務になったら「今度によりよくするためにシステムを変えるんだ」と目を輝かせている。やっぱり「正義愛」が礎にあるんですよ。

川原山 大久保武雄初代長官が1948年の海上保安庁設立時に訓示した「正義仁愛の精神」ですね。海上保安庁の業務には海上の治安維持における正義の信念と、人命保護に対する仁愛の情が必要とされます。海保の人間はみな心に刻んでいる言葉です。

吉川 「正義仁愛」こそ、「海蝶」でしっかりと描きたかったテーマです。

篠田 体力的にも精神的にも負担が大きい仕事だと思いますが、恐怖を感じることもあるのでは。

川原山 それは、あまりないんですよ。台風の中を救助に行く時は船がぐわんと跳ね、自分の体が宙を浮いて、一瞬やばいかもって不安がよぎるんですが、ちゃんと走っているから大丈夫だとすぐに思い直します。私は一人ではない、船と仲間がいるから大丈夫だって。

吉川 仲間の存在は大きいですよ。潜水士は必ずバディで潜るじゃないですか。水中では話すことができないけれど、水を介してお互いの考えがわかると元海猿の方から伺いました。その域に達するために徹底した訓練を行うのだと。もはや、家族ですよ。

川原山 実際の家族よりも長い時間一緒に

いるかもしれません。海に出てしまつて何日も家に帰れず、業務に集中しますから。

篠田 今後、女性の潜水士が出てくる可能性はあるのでしょうか。

川原山 誕生してほしいですね。潜水士にも「女性だからできること」が必ずあるはずですから。

吉川 女性保安官の先駆けの一人として後輩に伝えていくことはあります。

川原山 「無理はしちゃいけない」と言っています。無理な時は我慢しないで早く言いなさい、って。それから、「何でもやらせてもらいなさい」とも。まずやってみる。

それが成長につながるんです。

篠田 私もイメージモデルとして海上における緊急通報用電話番号「118番」の浸透に力を入れています。日本って海に囲まれているのに海保のことが本当に知られていないんです。愛ちゃんの成長を通して海保とそこで働く人たちの思いを多くの人に知ってもらいたいですね。

吉川 いつもピリオドを打った瞬間から、登場人物たちの未来を考えだすんです。愛はまだ駆け出しの潜水士。作者としても、もっと活躍し成長していく様を見守っていきたいと思います。

PROFILE

■ よしかわ・えり

1977年、埼玉県生まれ。2008年に『私の結婚に関する予言38』で第3回日本ラブストーリー大賞エンタテインメント特別賞を受賞し作家デビュー。著書には、「女性秘匿捜査官・原麻希」シリーズ、「水上警察」シリーズなどがある。



■ かわはらやま・ゆか

1973年、東京都生まれ。1992年海上保安庁入庁。巡視船艇や陸上勤務の後、CL型巡視艇の船長、海上保安学校教官等を経て、現在第三管区海上保安本部にて勤務。2005年友人女子6人でドーバー海峡往復泳成功。



■ しのだ・まりこ

1986年生まれ、福岡県出身。アイドルグループ・AKB48の元メンバー。グループ時代からファッションモデルや女優として活躍。2013年7月にAKB48を卒業。2019年2月に結婚、今年3月に第一子を出産し母親となった。



小説『海蝶』
講談社より発売中

3月

3/5



八管区
本部

不審船対処に係る
自衛隊との
共同訓練実施

3/10



六管区
本部

明治期灯台・せとうちロマン海道を空撮
明治期灯台をドローン空撮し事業者などで活用

3/22



大大学校
学校

海上保安大学校本科卒業式・特修科修了式
海上保安学校卒業式を挙げる

3/31



二管区
本部

陸上自衛隊東北方面総監部との災害対応に
かかる情報共有等に関する覚書締結

五管区

大阪湾
海上交通
センター



うみまる
マスク!?で
コロナ予防



5月

5/24

六管区

来島
海上交通
センター



海の管制官体験会
開催

5/28

二管区

酒田
保安部



児童への
灯台見学会開催

6月

6/3

五管区
本部



海保の元気飯シリーズ始動

6/4

八管区
鳥取
保安署



女子生徒専用
受験相談
ホットライン開設

6/17

八管区
本部
舞鶴保安部



日韓合同捜索救助訓練実施

6/19

七管区
唐津
保安部



巡視船いなさ解役

6/29
~7/3

大 学 校



オンライン学校説明会開催
《海上保安庁主体で初》

7月

7/1

六管区
呉保安部



《全国初!》
灯台café 中ノ鼻灯台に
カフェスペースオープン

7/16

十管区
奄美
保安部



元気一杯で再会! 急患搬送患者の訪船

7/18

十一管区
本 部



中部徳洲会病院屋上ヘリポート使用協定締結

7/20

二管区
青森
保安部



うみまるもコロナ対策で海難防止活動

7/20

十管区

薩摩川内市消防局潜水隊
との合同潜水訓練



7/20

十一管区
本 部



報道関係者に対する
離岸流体験会の実施

7/31

一管区
本 部



札幌市内を運行する
バス3台で海保をPR
(令和3年3月末まで)



海の事件・事故は118番へ

海上保安庁緊急通報用電話番号「118番」は、海難や悪質・巧妙化する密輸・密航等の事犯に迅速かつ的確に対応するため、平成12年から導入したもので、2020年海上保安庁118番イメージモデルに篠田麻里子さんを起用して周知活動を行っています。

また、令和元年11月から、聴覚や発話に障がいを持つ方を対象に、スマートフォンなどを使用した入力操作により、海上保安庁への緊急時の通報が可能となる「NET118」の運用を開始しました。「118番」が導入されて20年を迎えますが、通報の多くが間違い電話等であり、未だ十分に浸透していない状況です。

海上保安庁では、海難情報の早期入手等のため、引き続き、国民の皆様への浸透を目指して周知活動を行っています。



「NET118」登録方法

本サービスは「事前登録制」のサービスです。
こちらのコードを読み取るもしくは、entry@net118.jpを直接あて先に入力して空メールを送信、登録用メールが返ってくるので、案内される手順に従い登録してください。

海上保安庁のSNS

海上保安庁では、TwitterやYouTubeで、さまざまな情報を発信しています。



★公式ユーチューブ

<https://youtube.com/channel/UC3yxhEkCZKaDa-SdzaWECaQ>



《 総合 》

★公式ツイッター

https://twitter.com/JCG_koho



《 採用 》

■海上保安庁

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3 Tel. 03-3591-6361

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/>